

発行／恵那市議会

編集／広報広聴特別委員会

〒509-7292

恵那市長島町正家一丁目1番地1

TEL 0573-26-2111 (内線403)

メールアドレス gikai@city.ena.lg.jp

HPアドレス <https://www.gikai.city.ena.lg.jp/>



## 50年間に及んだ恵那市議会議場



## 議会だより12月1日号

### ～目次～

9月議会定例会提出議案の概要	2～3
議案議決結果	4
意見書、議会活動報告	5
9月議会委員会報告	6～7
決算審査特別委員会報告	8～9
一般質問(11人登壇)	10～15
市議会活動トピックス	15
主な出来事 (市民福祉委員会が視察勉強会を実施)	16
表紙の説明	16

# 令和三年第四回定例会 決算の認定、補正予算等を可決しました

令和3年第四回定例会が8月27日から9月30日までの35日間にわたり開催されました。

今回の議会に上程された議案は、決算の認定9件、企業会計の利益の処分及び決算の認定1件、条例の制定2件、条例の一部改正5件、その他2件、人事案件5件、補正予算7件、追加議案ではその他1件、補正予算2件の合計34件です。主な議案の内容は以下のとおりです。

なお、議決結果は4ページの議決一覧表にて掲載してあります。

## 決算の認定等

### ○令和2年度恵那市一般会計歳入歳出決算の認定等10件

令和2年度に執行した会計毎の事業の決算については議会の認定、利益の処分については議決するものです。決算審査特別委員会を設置して16人の委員で審査を行いました。特別委員会の委員は次のとおりです。

委員長 柘植孝彦  
副委員長 林 貴光  
委員 太田敦之 山内敏敬  
平林多津子 後藤康司  
中嶋元則 伊藤勝彦  
猿渡南江 安藤直実  
町野道明 服部紀史  
秋山佳寛 佐々木透  
千藤安雄 堀 光明

## 条例関係

### ○恵那市押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定

地方公共団体における押印見直しマニュアルに基づき、押印を廃止する所要の改正をするため、恵那市職員の職務の宣誓に関する条例、恵那市固定資産評価審査委員会条例の2本を1つの整備条例として、この条例を定める。

### ○恵那市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の免除に関する条例の制定

過疎地域の持続的発展の支援に

関する特別措置法第8条第1項に規定する市町村計画に基づき、産業振興促進区域内で振興すべき業種として定めた事業の用に供するために取得した設備の固定資産税の課税免除に関する規定を定める。

### ○恵那市個人情報保護条例の一部改正

個人情報の収集、目的外利用、外部提供、電子計算機の結合及び個人情報報の開示請求において、非開示の判断基準を追加するなど、所要の改正を行う。

### ○恵那市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆるマイナンバー法の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

### ○恵那市手数料条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、マイナンバーカードの交付を「地方公共団体情報システム機構（J-LIS）」という団体が行うこと

が明確化されたため、再交付に係る手数料は、市の収入とならなくなるため、所要の改正を行う。

### ○地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に係る恵那市固定資産税の特例に関する条例の一部改正

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第26条の地方公共団体等を定める省令の一部改正に伴い、固定資産税の課税免除の対象施設の設定期限を変更する改正を行う。

### ○恵那市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、文書の磁氣的記録による提出を認める規定を追加するなど、所要の改正を行う。

## その他

### ○恵那市過疎地域持続的発展支援計画の策定

これまでの過疎地域自立促進特別措置法（旧法）が令和3年3月末日で限時法としての期限を迎え、4月1日に新たに過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法

(新法)が制定された。新法の施行を受け、該当地域の持続可能な地域社会の形成及び地域活力の向上に向け、恵那市過疎地域持続的発展支援計画を定める。

○**辺地に係る公共施設の総合整備計画の変更**

辺地における公共的施設の整備に対する財政上の特別措置を受けするため、飯地町地内の市道飯地中野方線の施工延長を追加整備するため、総合整備計画を変更する。

○**財産の取得**

恵那市役所本庁舎議場家具更新事業契約額 3,462万8千円  
相手方 (株)小見山家具製作所

**人事関係**

○**人権擁護委員の候補者の推薦**

委員の任期満了(令和3年12月31日)に伴い、新たに人権擁護委員の候補者を推薦することについて同意する。

- 各務素弘氏(長島町) 再任
- 市川雅子氏(三郷町) 再任
- 堀尾佳裕氏(岩村町) 再任
- 堀 君史氏(明智町) 新任
- 松岡和美氏(上矢作町) 新任

**補正予算関係**

一般会計19億5,173万3千円  
増額ほか6会計の補正予算を可決

○**令和2年度補正予算関係**

一般会計では、新型コロナウイルス対策に係る事業として、ワクチン接種を早期に進めるための事業に7,351万5千円、市内医療機関を支援する目的で寄せられた「ふるさと応援寄附金」を新型コロナウイルス感染症対策に使っていたべくよう医療機関へ配分するため1,324万円、県の営業時間短縮要請に協力したが協力金の給付対象外とされた市指定管理者への協力金等支給に744万円、緊急対応を要する事業として、明知鉄道の経営支援に2,005万8千円、早期に対応が必要な道路修繕工事に2,150万円、民間事業者による住宅団地開発事業を支援する事業に868万6千円、小中学校の故障した施設設備の修繕に984万1千円、まきがね公園ローラー滑り台の修繕に774万5千円、国庫・県支出金等の財源を活用した事業として、モータースポーツ推進事業の車中泊拠点の整備に800万円、農業経営高度化支援事業に1,000万円、アフターコロナの観光誘客を目的

とした街道(中山道・東海道)交流事業と戦国武将観光推進事業に640万円、道路整備事業1,400万円、リニア送電線工事の工事用道路整備と併せた市道笠置町4号線の拡幅等工事に700万円など、3億2,296万1千円を計上する。

追加議案として、令和3年8月豪雨により被災した道路や河川、農地などの復旧に16億2,877万2千円を計上する。



8月豪雨災害被害状況(山岡町地内)

国民健康保険特別会計では、療養給付費等負担金の過年度精算分による返還金2,155万円、傷病手当金に36万円の合計2,191万円を計上する。  
介護保険特別会計では、介護給付費負担金の過年度精算による返

還金854万1千円、介護保険給付基金積立金に301万4千円の合計1,155万5千円を計上する。

遠山財産区特別会計では、繰入金金を6万5千円減額し、前年度繰越金を充てる歳入の補正を行う。

上財産区特別会計では、繰入金金26万7千円を減額し、前年度繰越金を充てる歳入の補正を行う。

後期高齢者医療特別会計補正予算では、保険料の過年度還付金28万円、後期高齢者医療広域連合への保険料負担金として、1,476万6千円を計上する。

病院事業会計では、過年度分損益勘定留保資金を減額し、過疎対策事業債をもって充当する財源の組替えを行う。

**議会提案**

○**意見書**

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書  
(5ページに記載)

**9月議会定例会傍聴**

新型コロナウイルス感染症予防のため、8月27日の本会議から傍聴席を閉鎖して開催しました。

議会だより

9月議会定例会 議決結果

(全会一致分)

議案名		採決結果
条例関係	恵那市押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
	恵那市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	可決
	地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に係る恵那市固定資産税の特例に関する条例の一部改正について	可決
	恵那市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
令和2年度決算認定	令和2年度恵那市遠山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	令和2年度恵那市上財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	令和2年度恵那市水道事業会計決算の認定について	認定
	令和2年度恵那市下水道事業会計決算の認定について	認定
	令和2年度恵那市病院事業会計決算の認定について	認定
	令和2年度恵那市国民健康保険診療所事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決認定
予算関係	令和3年度恵那市一般会計補正予算(第4号)	可決
	令和3年度恵那市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
	令和3年度恵那市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
	令和3年度恵那市遠山財産区特別会計補正予算(第1号)	可決
	令和3年度恵那市上財産区特別会計補正予算(第1号)	可決
	令和3年度恵那市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
	令和3年度恵那市病院事業会計補正予算(第1号)	可決
	令和3年度恵那市一般会計補正予算(第5号)	可決
	令和3年度恵那市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
人事関係	人権擁護委員の候補者の推薦について(各務 素弘氏)	同意
	人権擁護委員の候補者の推薦について(市川 雅子氏)	同意
	人権擁護委員の候補者の推薦について(堀尾 佳裕氏)	同意
	人権擁護委員の候補者の推薦について(堀 君史氏)	同意
	人権擁護委員の候補者の推薦について(松岡 和美氏)	同意
その他	恵那市過疎地域持続的発展支援計画の策定について	可決
	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	可決
	財産の取得について(恵那市役所本庁舎議場家具更新)	可決
提案	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決

(採決が分かれたもの)

件名	会派・議員名	結果	新 政 会										共産党	公	市	リ	無	無	
			堀 光 明	後 藤 康 司	鶴 飼 伸 幸	千 藤 安 雄	中 嶋 元 則	西 尾 努	柘 植 孝 彦	伊 藤 勝 彦	服 部 紀 史	太 田 敦 之							林 貴 光
条例関係	恵那市個人情報保護条例の一部改正について	可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	恵那市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	恵那市手数料条例の一部改正について	可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
令和2年度決算認定	令和2年度恵那市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	令和2年度恵那市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	令和2年度恵那市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	令和2年度恵那市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○

\*無：無所属、公：公明党、市：市民ネット、共：日本共産党、リ：リベラルえな

○：賛成、×：反対

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なし寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。

2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。

3 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。

4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。

5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年8月27日

岐阜県恵那市議会

議会活動報告

8月

4日 国土交通省要望（リモート）

5日 東濃飛騨市議会議長会議

11日 議会だより編集会議

13日 東京2020パラリンピック聖火の採火式

16日 中津川恵那広域行政政策会議勉強会

19日 議会運営委員会

20日 議会だより編集会議

23日 全員協議会（リモート開催）

24日 議会運営委員会

27日 決算審査に係る勉強会

27日 恵那市議会定例会（初日）

27日 決算審査特別委員会

9月

1日 恵那市ラリージャパン

2日 活用推進実行委員会

3日 総務文教委員会

5日 市民福祉委員会

8日 経済建設委員会

9日 恵那市総合防災訓練、市議会情報伝達訓練

8日 決算審査特別委員会（一般会計）

9日 決算審査特別委員会（特別会計・企業会計）

16日 国道418号改修促進協議会役員会

16日 議会運営委員会

21日 全員協議会

21日 恵那市議会定例会（第2日）

10月

22日 恵那市議会定例会（第3日）

24日 総務文教委員会

24日 経済建設委員会

24日 全員協議会

30日 恵那市議会定例会（最終日）

22日 議会だより編集会議

22日 総務文教委員会と教育委員と語る会

25日 「国道19号瑞浪恵那道路、新丸山

25日 ゴム建設事業、リニア中央新幹

26日 線関連事業等」多治見砂防国道

26日 事務所、中部経済産業局、中部

26日 運輸局ほか国出先機関要望

26日 議会運営委員会

27日 各派代表者会議

27日 全員協議会

27日 議会だより編集会議

27日 恵那市ラリージャパン活用推進

27日 実行委員会

他市町村からの視察受入状況（1件）

10月

12日 多治見市議会・ICT教育の取組について

12日



市民福祉  
委員会

# 新型コロナウイルスの ワクチン接種が大きく前進

一般会計補正予算でワクチン接種事業費 7,351 万円が計上、当委員会に付託され、全会一致で可決すべきものと決しました。

その内容は、会場運営費、個別接種、集団接種の歳出をはじめ、医師派遣など、人件費が主なものです。現在ワクチン接種が大きく前進し、感染予防に大きな成果がでています。

## ワクチン接種進捗状況（年代別） ※令和3年11月1日現在

年代別	対象者	1回目接種者	接種率	2回目接種者	接種率
12歳以上	3,599	2,793	77.6	2,512	69.8
20歳以上	4,165	3,359	80.6	3,023	72.6
30歳以上	4,388	3,418	77.9	3,082	70.2
40歳以上	6,212	5,309	85.5	5,095	82.0
50歳以上	6,127	5,514	90.0	5,378	87.8
60歳以上	3,259	2,976	91.3	2,927	89.8
65歳以上	17,102	16,859	98.6	16,707	97.7
合計	44,852	40,228	89.7	38,724	86.3



ワクチン接種も大詰めを迎えた集団接種会場の様子

経済建設  
委員会

# 8月豪雨関連の災害復旧 ～ 一日も早い復旧に期待 ～

8月豪雨による災害復旧予算がまとめられ、追加議案として当委員会に付託され、全会一致で可決すべきものと決しました。一日も早い復旧に期待します。

### 主な復旧事業

- 現年農地災害復旧費 1億6,050万円（農地災害32件、農地小規模災害115件）
- 現年林道災害復旧費 1億1,511万円（公共災害5件、市単災害50件）
- 現年農業用施設災害復旧費 2億6,314万円  
（農業用施設災害44件、農業用施設小規模災害64件）
- 現年道路橋りょう災害復旧費 6億960万円  
（公共災害33件、市単災害117件）
- 現年河川災害復旧費 4億3,620万円  
（公共災害43件、市単災害117件）
- 現年都市計画施設災害復旧費 363万円  
（阿木川河川公園）
- 現年観光施設災害復旧費 800万4千円  
（恵那峡公園駐車場法面等）



岩村町蔵前橋の落橋

# 9月議会委員会報告

総務文教  
委員会

## 恵那市過疎地域持続的発展支援計画の策定

旧法が令和3年3月末日で期限を迎え、新たに成立した過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の規定により、恵那市過疎地域持続的発展支援計画を定めるものです。

この対象地域となる過疎地域は人口と財政力指数の要件により指定され、これまで串原と上矢作町が対象地域でしたが、今回の特別措置法では山岡町と明智町が新たに加わりました。

なお、平成の合併による市町村については、現在でも合併の諸課題に対応するための様々な対策が行われている状況から、今回の法律でも引き続き合併前市町村単位の一部過疎の要件が残っています。

新計画は、県が定める方針に基づき市議会の議決を経て策定し、恵那市第2次総合計画及び第2次地域計画の具現化を目指し、該当地域の持続可能な地域社会の形成及び地域活力の向上に向けた計画となっています。

この計画を策定することで、事業実施するにあたり過疎対策事業債の活用等の財政上の特別措置が受けられることとなります。事業は該当地域が中心になりますが、市全体の振興に大いに寄与するもので、中長期財政計画では合併特例事業債の終了や電源立地地域対策交付金の縮減による財源の減少が見込まれており、過疎対策事業債は市にとって重要な財源となります。

### 過疎対策事業債を活用し整備した主な施設

- ・くしはら温泉ささゆりの湯
- ・国保上矢作病院
- ・特別養護老人ホーム福寿苑
- ・道の駅ラ・フォーレ福寿の里、  
消防器具庫、市道、林道など

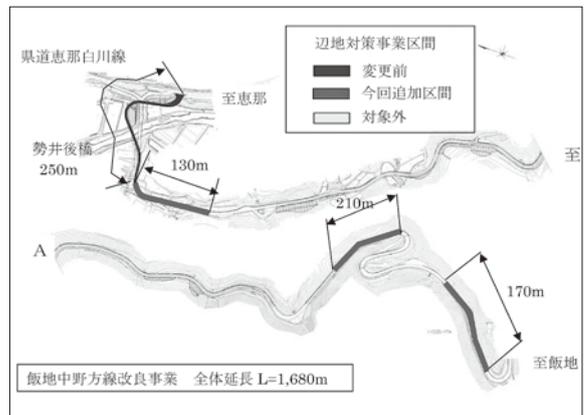


道の駅 ラ・フォーレ福寿の里

## 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置法等に関する法律の規定により、計画の変更をするものです。

交通条件などの諸条件に恵まれないなど、政令で定める要件に該当している地域〈辺地〉で公共的施設整備に対する財政上の特別措置を受けるため、飯地辺地に係る総合計画を策定して市道飯地中野方線の橋梁工事を進めていますが、今回計画していた道路改良の施工延長を3か所で460m追加するため、計画内容を変更するものです。

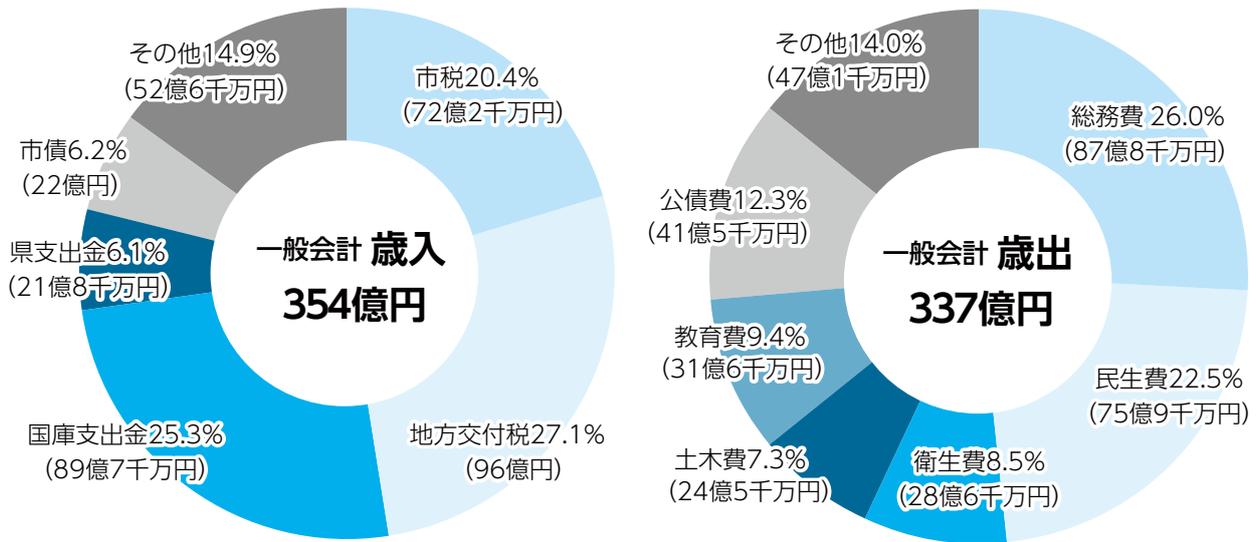


飯地中野方線改良事業の図

# 決算審査特別委員会報告

決算審査特別委員会は、議長・監査委員を除く全議員で委員会を構成し、付託された議案の審査を行いました。令和2年度の決算の状況は、一般会計は歳入 354 億 3,043 万円、歳出 337 億 26 万円となり、歳入歳出差引額は 17 億 3,016 万円で、令和3年度への繰り越し事業の財源 2 億 7,928 万円を差し引いた、実質収支額は 14 億 5,088 万円の黒字となりました。

■令和2年度 一般会計決算額（実質収支額）



決算審査特別委員会が付託を受けた令和2年度恵那市一般会計及び特別会計・企業会計決算に係る議案10件の審査を行うため、9月8日・9日の2日間委員会を開会しました。

各委員からの質疑に対し、それぞれの担当課長を中心に答弁がありました。討論の後採決を行い、一般会計及び特別会計・企業会計9件は「認定すべきもの」、企業会計1件は「利益の処分については可決すべきもの、決算については認定すべきもの」と決しました。

**◎一般会計**  
**主な審議内容**  
**◎一般会計**  
**実質収支比率が近年と比較して大きい理由は。**

**問** 令和2年度の実質収支額は14億5,088万円。コロナウイルスの影響により各種イベントが中止となり、予算執行の実績がなかったことで比率が大きくなったことが要因である。

**答** 地域情報運営経費の住民生活総合支援アプリの運用状況は、防災、防犯、ごみ、健康、子育て、行政、暮らしなどの情報発信のほか、集団がん検診などの予約もできるため、令和2年11月の配信スタート時のインストール数1,565件から、令和3年3月時点では2,305件ま

で増加した。また、コロナワクチン関連の情報発信等の影響により、今年度に入り8月末現在のインストール数が5,361件と大きく数字が伸びている。

**問** 子育て支援センター事業費について、経済的支援の在り方や対策は。

**答** 令和2年度は、コロナに関係して、新生児に対する10万円の給付や、通常の児童手当に1人当たり1万円を上乗せ支給したなど、子育てに関連した様々な経済的な支援を行った。

**問** 高齢者等生活支援事業の執行率が低い理由は。

**答** 約2,500万円の未執行額の大部分が公共交通利用券の補助金分となっている。初めての試みのため、対象者である75歳以上の高齢者の約5,000人に対し、1万円分の交通チケットを利用する試算をし、事務費を含めた5,493万円を予算計上したが、実際のチケット利用は2,581万2,000円に留まったためである。

**問** ごみ減量化対策事業費について、令和2年度に地域の資源回収拠点が増えたことによる効果は。

**答** 令和元年度に開所した2か所を含めた、資源回収拠点におけるごみの回収量は193トンで、ごみステーションに排出される可燃

ごみは、令和元年度が7,238トン、令和2年度が7,202トンと36トンほど減少した。



開所した資源回収拠点(東野)

**問** 空家解消対策事業費について、危険空家の近年の傾向と啓発に関する実績は。

**答** 昨今、人口減少、少子高齢化、子どもが親と同居しないなどの影響で空家等が増加している。令和2年度は、建物の劣化、屋根が抜けかけている、動物が住みついていたりなどの通報が市民から36件あった。今後も危険空家にならないよう取り組みを進めていく。また、啓発については、令和元年度に広報えな7月号にて特集を組んだ。令和2年度についても市のホームページ等で周知を行った。

◎特別会計、企業会計

**問** 介護保険事業特別会計決算について、介護人材確保に向けてどのような取り組みをしているか。

**答** 介護人材の確保については、介護現場においても大きな課題の一つとなっている。昨年は、インターンシップとして、中京学院大学から8名の学生を受け入れ、介護現場の体験や自宅訪問への同行のほか、市内13地域で介護保険の内容や利用方法を学ぶ介護予防教室に参加。介護保険の仕組み等を理解してもらう取り組みをしている。

**問** 指定介護予防費について、3年前から比較すると増加している要因は。

**答** ケアプランの作成件数は、3年前と比較すると347件増加している。平成29年度の要支援1、要支援2の高齢者は512人、令和2年度は507人と、大きな差がないことから、年々必要とされる介護予防サービスのニーズが高まってきている。あるいは、介護予防への意識が高まっているのではないかと考えられる。

**問** 水道事業会計決算について、給水人口が減少し、給水件数が増加した理由及びコロナ禍による影響は。

**答** 給水件数は17件増加しているが、給水人口は714人減少している。新規加入者は令和2年度で134件と増えており、住宅開発が影響していると考えられる。コロナの影響によって、観光地、ホテル、サービスエリア等の使用減により、給水収益の減少につながっている。

**答** 給水件数は17件増加しているが、給水人口は714人減少している。新規加入者は令和2年度で134件と増えており、住宅開発が影響していると考えられる。コロナの影響によって、観光地、ホテル、サービスエリア等の使用減により、給水収益の減少につながっている。

**問** 病院事業会計決算について、恵那病院の入院患者が上矢作病院に比較して減少している要因は。

**答** 前年度に比べて恵那病院の入院患者が大きく減少しているのは、内科、小児科、整形外科となつている。市民が感染症対策の徹底をしたことにより、コロナ以外の感染症が少なかったこと、主にインフルエンザの患者がほとんどいかなかったこと。全体的に受診控えもあったこと。病院側も薬の投与を長期にするなどの対応を行ったことが要因であると考える。

**問** 国民健康保険診療所事業会計について、岩村診療所の外来が大きく落ち込んでいる要因は。

**答** 新型コロナウイルスの影響が大きく、感染源と接する機会を減らすために、慢性疾患を持つている定期受診者の薬の長期投与を積極的に行つたことが要因の一つと考えられる。

○主な財源指数(カッコは前年度)

・財政力指数	0.462	(0.463)
・経常収支比率	86.4%	(85.9%)
・公債費比率	0.9%	(2.9%)
・実質公債費比率	1.0%	(3.0%)
・人口	48,765人	(49,545人)
・世帯数	19,878世帯	(19,879世帯)

(令和3年3月31日現在)

○市債(借金)、基金(貯金)の状況

(単位:万円)

区分	令和2年度末現在高	市民一人当たり	
市債	一般会計	261億7,925	53
	特別会計	65億6,534	13
	企業会計	88億5,583	18
	合計	416億43	85
基金	190億5,200	39	



いとうかつひこ  
伊藤勝彦

## 恵那市の歴史文化の保存・継承について WRC(世界ラリー選手権)の開催について

### 恵那市の歴史文化の保存・継承について

**問** 恵那市の文化財は381件だが、新たな指定に向けての動きはあるか。

**答** 国指定に向けては明知城跡の再評価を、県指定に向けては2件を申請している。

**問** 恵那市の歴史文化はどのような団体に保存・継承されているか。

**答** 中山太鼓や明智太鼓、正家廃寺や中山道などの保存会や先人顕彰会などで行われている。

**問** 「恵那三学塾」での地域の歴史文化の保存・継承の充実、地域学校協働活動での歴史文化の保存・継承はできないか。

**答** 現在の学びの組織化等、「学びの提供」に積極的に取り組む。「恵那三学塾」と連携しながら地域学校協働活動を進めていく。令和4年、本市で開催される嚶鳴フォーラムを契機に先人からの学びを市民に広げようとする。

(教育委員会事務局長)

### WRCの開催について

**問** ラリージャパン2021の中止の要因は何か。

**答** 外国からの選手の新型コロナウイルスに対応する入国手続きの困難さが主な要因。

**問** 来年のWRCの開催は。

**答** 2022年11月10日～13日、愛知県・岐阜県で開催。恵那市もコースの一部に含まれる。

**問** 代替大会の「セントラルラリー2021」の詳細は。

**答** 11月12日～14日、ラリージャパンでの設定コースで開催される。恵那市では11月14日にSSが無観客で行われる。

**問** 「セントラルラリー2021」を活用した恵那市の活性化策は。

**答** WRC開催に向けての気運を醸成していく。

**問** 来年のWRC「ラリージャパン2022」に向けての恵那市としての取組は。

**答** ラリージャパンを契機に恵那市の魅力を感じ、再訪につながる取組をしていく。

(まちづくり企画部長)

一般質問



はやし たかみつ  
林 貴光

## 森林行政について

### えなの森林づくり実施計画について

**問** 平成28年度からの主要施策の中で土地境界明確化はどの様になったか。

**答** 第1期目の6年間で市有森と資源量調査を実施。平成28年度からの第2期目では民有林3,130ha余りの境界明確化を実施した。しかし、林政での調査は、国土調査法による地籍調査の様な土地更正登記を伴うものでない。令和2年度までに市内全域の46.5%で国土調査法に基づく地籍調査を実施済みだ。

### 森林環境譲与税の活用について

**問** 恵那市の森林環境譲与税の活用方針は。

**答** 10年以上手の入っていない森林を整備する森林経営管理制度をメインに活用し、担い手育成や、森林教育にも一部活用している。

**問** 譲与税を森林組合、民間事業者、個人家の林業機械購入補助に使えないか。

**答** 税制度上、譲与税を充当することは出来ないが、国や

県の補助メニューがある。そちらを利用して欲しい。

### 自伐型林業を取り入れたまちづくりについて

**問** 自伐型林業推進の先進地の一つである高知県佐川町の森林長期施業管理スキームについてのご見解は。

**答** 町が森林所有者から山林の管理を請負、施業を行いたい方に委託する制度で、森林経営管理制度の先駆けとなった事業で大変素晴らしい。当市においても今後、管理が出来なくなった森林のあり方を検討する中で自伐型林業を取り入れた佐川町の取り組みは一つの手段であると考える。

**問** 自伐型林業の担い手の確保協力隊を雇用する考えはあるか。

**答** 自伐型林業を目指す移住者を、地域おこし協力隊として雇用するには市の施策として位置付ける必要がある。公共的な活動が求められる制度的な調整も含め検討させていただきたい。

(農林部長)



さわたりみなえ  
猿渡南江

### 新型コロナウイルス感染症の対策について スケートボードができる公園、市民の憩いの公園整備を！

#### 新型コロナウイルス感染症の対策について

**問** ワクチンの接種状況は。

**答** 65歳以上の高齢者の2回接種96.4%。順次、基礎疾患を有する者・社会福祉施設の従事者・小中学校教職員・保育関係従事者を優先して進めている。

**問** 副反応の報告は。

**答** 発熱・頭痛倦怠感などがみられた。5人が医師の指示で恵那病院へ救急搬送されたが、重篤な方はいない。

**問** 子どものワクチン接種について安全だという科学的根拠はあるか。

**答** 公益社団法人日本小児科学会は「12歳以上の健康な子どもへの接種は意義あると考えている。接種にはメリットとデメリットを本人と養育者が十分理解し、きめ細やかな対応が必要」としている。  
ワクチンを打たない人への差別は、いついかなる時に起るかわからない。

**答** 予防接種法ではワクチン接種は努力義務とされており、強制ではない。偏見や差別につながる行為は行わないよう注意喚起している。

**問** 感染を未然に防ぐには検査が必要と思うが、希望者全員に無料で検査は出来ないか。

**答** 令和2年から行政による検査は、必要な方への検査が速やかに実施できるよう体制を整えてきた。感染症が疑われると医師が診断した場合が全額公費となる。

**問** 軽症者の受け入れ能力は。

**答** 県が実施主体となり取り組んでいる。東濃地域では、ホテルルートイン土岐、恵那峡グラントホテルを感染拡大の状況に向けて準備している。

(医療福祉部長)  
スケートボードのできる公園・市民の憩いの公園整備を！

若者の要求を聞く恵那市にするためにも、スケートボードのできる公園を作りたい。



あんどうなほみ  
安藤直実

### ジェンダー平等 性の多様性尊重について

**問** 市民意識調査では「社会で男性が優遇されていると思う人」は59.6%、「男女が平等と思う人」は22.2%。市民に性別・性別役割の違和感についてアンケートをとり、気づきを促す取り組みを進めてはどうですか。

**答** 平等意識の低いところは「社会通念・習慣しきたり・政治の場」です。取り組みについては男女共同参画プラン推進委員会の意見も聞き検討します。(まちづくり企画部長)

**問** 性的マイノリティの家族から「情報がほしい、交流したい」「居心地の良い恵那にして」等の声が届いています。市のウェブサイトに理解を進めるサイトがありません。

**答** 相談窓口は「市福祉総合相談窓口」です。市のHPで理解促進の周知をします。今年度は人権施策のアンケート調査を行い、現状把握を行います。(医療福祉部次長)

**問** 小学校にあがる前から、心とからだの性の違いに気づくことが半数の人にあると聞く。こども園等保育教諭への研修機会を。また、中学生女子の制服はスラックスも選択できるようにしていますか。

**答** 研修会では男(女)の子らしくといった言葉を使わないなど人権的な視点を共有しています。女子制服でスラックスを選択できるように案内していません。生徒個人から相談があり選択させている学校があります。恵那市の中学校ではジェンダレス(性差を感じさせない)制服の議論は進んでいません。(副教育長)



一般質問



つげ たかひこ  
柘植 孝彦

## 人口ビジョンと地域の課題について

人口ビジョンと地域の課題について

**問** 市の人口ビジョンでは少子化対策として若い世代への子育て支援等が重要としてあります。国、県の平均値以下の指標項目の改善についての対策はどうか。

**答** 恵那市では、経済的課題やライフスタイルの変化などにより、未婚化、晩婚化が進行して出生数の減少率は全国や岐阜県よりも大きい状態となっています。人口減少を抑制するためには、若い世代の経済的安定を図り、妊娠期から出産・育児・子ども・若者の自立まで、切れ目ない支援を今以上に進めるとともに、男女それぞれワーク・ライフ・バランスの充実、働き方を改善させる取組などを推進し、若い世代の結婚や子育ての希望を実現できる環境を整備する必要があると考えております。

**問** 笠周振興計画は立案から7年を過ぎ、新たな課題や要望、ニーズが生まれています。そ

(総務部長)

の対応のために新たな笠周振興計画を策定すべきと考えますが、いかがですか。

**答** 笠周振興計画は、計画に沿って事業を進める一方で、新丸山ダム関連事業の国道418号線の改良、ボート・カヌー場、またモーターパークといった新たな資源も整備がされている。環境の変化、これまでの計画の成果、資源の活用状況や運営状況など、現状をしっかりと認識し、若い世代の方々も含める中で、笠周3町が連携し、方向性や取組を共有するための計画は必要で、地域の課題解決には重要です。市としても協力をしていきたいと思っております。

(まちづくり企画部次長)



ポーランドカヌーチーム練習風景 (笠置町)

一般質問



はっとり のりあき  
服部 紀史

## 希望のもてる地域づくり

災害に強いまちづくり

**問** 岩村地域には避難指示が発令されませんでした。今回の豪雨による避難情報の発令に関する評価は？

**答** 全体的には、基準に基づき適正に指示が発令できたと感じているが、今後は、気象情報に頼り過ぎないよう現地の状況も勘案してよりの確な判断をしたい。

**問** 全国的に避難情報を発令しなくても、実際の避難に繋がらないことが課題とされています。今回の状況と評価は？

**答** 過去の避難発令と大きく異なることは無く、市内全体で20世帯程度の避難者であった。今後も引き続き啓発等に努めたい。

**問** 法改正により個別避難計画の策定が地方自治体に努力義務としてされましたが、取り組みの考えは？

**答** これまで大井町、長島町、笠置町以外の地域自治区では、自主的な取り組みがなされ、何らかの形になっています。策定されていない地域への支援を実施したい。(総務部長)

**問** リニアを生かしたまちづくり

**答** リニア開業時期を目標とした戦略的な事業の実施が必要では？

**問** リニア開業時期を見据え、観光資源活用の担い手となる地域との連携を大切に、協力関係を築く中で、意見や要望を聞きながら戦略的に事業実施を行ってきたい。

**答** 今後、リニア開業時期を見据え、観光資源活用の担い手となる地域との連携を大切に、協力関係を築く中で、意見や要望を聞きながら戦略的に事業実施を行ってきたい。

**問** 歴史的観光資源として、先人顕彰を生かした人物観光の考えは？

**答** 市内全域で30人として纏められるほど多数の先人を誇る恵那市は、観光誘客においてもその魅力を十分に発信し、迎えられる潜在能力があると考えます。来年度開催の、嚶鳴フォーラムを契機に観光振興の視点に「学ぶ」というキーワードを新たに加え、歴史観光資源の一つとして、効果的な発信や活用、観光誘客に結び付けられるよう検討を重ねていきたいと思っております。

(商工観光部長)



ひらばやし たづこ  
平林多津子

## 「子育て安心」の 恵那市を目指して

### 子育て安心の支援を考える

**問** 恵那市の子育て支援の場はどのようなものがありますか。

**答** 児童センター（中野・大井）・元気プラザ・地域の子育て支援センターなどがあり多くの親子・児童の活動や交流の場として利用されています。内容や運営方法について見直しが行われているところではあります。

**問** どのような見直しが行われていますか。

**答** 子どもを取り巻く環境の変化により、子育て支援センターなどは内容や開催頻度について、児童館については月曜日の開館やランドセル来館について見直しを行っています。

### 子育てに悩む方の支援は。

**答** 子どもの成長に合わせて行っている健診や教室で対象年齢児の成長具合を見るとともに、保護者の子育てへの疑問や悩みを聞くようにしています。「えなっ宝（こ）ほっとステーション」では妊娠から子育てまでの相

談を受け付けたり支援を行ったりしています。恵那市のホームページにもメールフォームがあります。

**問** 放課後児童クラブ（学童保育）の現状と課題は。

**答** 放課後や長期休暇の児童の居場所として全小学校区に今は21のクラブが配置されています。地域の特性に合わせてそれぞれ創意工夫し国からの補助金を受けながら活動しています。多くのクラブは学校内の施設を利用して行っており、学校や地域との連携も考えています。指導員の確保が課題です。

**問** 放課後児童クラブ（学童保育）の現状と課題は。

**答** 放課後や長期休暇の児童の居場所として全小学校区に今は21のクラブが配置されています。地域の特性に合わせてそれぞれ創意工夫し国からの補助金を受けながら活動しています。多くのクラブは学校内の施設を利用して行っており、学校や地域との連携も考えています。指導員の確保が課題です。

### 幼保連携型こども園について

**問** 幼保連携型こども園について保護者からの要望としてお迎え時間や遅れた場合の延長保育料の緩和・育休中の幼保コース利用などが出されているが市の考え方は。

**答** 国基準に基づくと共に利用時間の公平性を保つために、利用者には丁寧の説明を行っています。

（副教育長）



まちのみちあき  
町野道明

## 目配りの夏休み 前後について

### 夏休み前後の心の負担

**問** 子どもたちの命と、心の負担については、夏休み前後は目配りが必要ですか。特に今、新型コロナウイルスの影響が大きく学校生活が一変している。子どもたちの、ストレスや息苦しさ、SOSの発信、相談の窓口に特別な目配りが必要であると思つて。

**答** 子どもたちの命を絶つ事案は全国的な状況として8月末から9月に多いと認識しています。教職員は、危機意識を高く持ち、子どもひとりひとりの言葉や様子をよく注視し、変化にいち早く気づくことや、様子が気になる子どもの情報は、学校職員、保護者、関係機関と共有し、組織で対応する。子どもや保護者からの相談には、素早く、かつ丁寧に対応する。夏休み明けに子どもにアンケートの実施、職員やスクールカウンセラーとの面談も行う。子どもが一人一台持っているタブレット端末を使い、子どもがその日の気分を晴れ、曇り、雨、雷の天気マークを選ぶところの天気というアプリを積極的に活用する。

**問** 夏休みの宿題で読書感想文がある。読書を通じて子どもたちの負担を和らげるため、図書館を活かして、先生と司書さんが連携して読書による心の豊かさを深める取り組みは。

**答** 読書に親しむことで、心が豊かになり、知識や言葉が増え、読み解く力や筋道立てて考える力、思い描く力など身につくと考えています。学校の図書室は、恵那中央図書館とつながっているので蔵書が充実しています。学校図書と学校職員が連携して、夏休みの前への興味を高めるブックトークを開催しています。夏休みは、じっくりと読書できる絶好の機会であり、読書の推奨を続けています。

### 通学路の合同点検

**問** 千葉県八街市の事故を受けて全国で通学路の合同点検が9月末をめどに実施となった。実施の状況と子ども目線での取り組みは重要と思つて。

**答** 通学路の安全確認に今まで以上に力を入れて、全ての小中校で通学路の危険箇所の点検が行われました。また恵那市通学路安全推進協議会で協議した危険箇所を選定した15か所、園の周辺をキッズゾーンと定め整備を行います。子ども目線での危険を確認して、交通安全を考え実行できるリーダーの研修や下級生の指導も充実させます。（副教育長）

（副教育長）

一般質問



さ さ き とおる  
佐々木 透

## 第8期高齢者福祉計画・ 介護保険事業計画について

### 第8期高齢者福祉計画・ 介護保険事業計画について

**問** 今回の第8期計画へはどのような内容を重点に策定されたのか。

**答** 基本的には第7期計画を踏襲するとともに、国が示す制度や方針の内容を踏まえて計画を策定したところです。

具体的には、第7期計画で位置づけた安心と生きがいのある高齢者福祉の充実という基本理念を継承し、その理念達成のために、5つの基本目標と13の基本施策を位置づけました。

基本理念とは、子どもから高齢者まで誰もが自立し、尊厳を持った社会の重要な一員となり、地域ぐるみで支え合う心豊かな福祉社会の実現を目指すことです。

(医療福祉部次長)

**問** 労働者による介護離職を防ぐための具体的な取組について今回の第8期計画には、どの様に盛り込まれているのか。

**答** 介護離職を防ぐための支援定員数を計画に沿って確保するとともに、在宅介護する介護者の負担を軽減することが重要であると考えます。そのためには、介護保険の在宅介護サービスを上手に御利用頂くことでございます。

市では、日常生活圏域ごとに地域密着型サービスの供給量を設定して計画的に基盤整備を推進しており、これまで訪問介護や通所介護サービスの充実を図るとともに、通い、訪問、泊まりを一つにした小規模多機能型居宅介護や、看護小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスの充実にも努めてきました。

今後、第8期計画に沿って、着実に実行していきたいと考えています。

(医療福祉部次長)



介護予防事業の様子



あきやま よしひろ  
秋山 佳寛

## 恵那市のコロナ対応・ 8月の豪雨災害

### コロナ対応の現状

**問** 全国的にワクチン接種も着実に進んでおります。

**答** 全国的にワクチン接種も着実に進んでおります。恵那市の現状と最新の状況、ウィズコロナの時期を迎えるにあたり行政の情報提供と市民の心構えを質問します。

**問** ワクチン接種については市民の協力もあり順調に進んでいるが供給量の不足分は必要量を県に要望している。学校までも園で感染があった場合、感染者が特定されるおそれがあるので公表はしていない。しかし、感染者等、多く出た場合は、休園または休校になるので、関係者には状況を発信します。その他、新しい情報は全市民に届くように広報えなや市公式アプリ「えくなび」など、市の全ての広報媒体を活用して周知するのでよろしくお願します。

(医療福祉部長)

**問** 8月の豪雨被害について  
8月、恵那市を襲った豪雨災害の状況と、災害から学んだ

事柄、市民の災害に向けた情報提供、避難者の心構え、被災(り)災害者サービスについて質問します。

**答** 八月十三日から続いた大雨は三日間で、山岡町では364ミリ、岩村町では361ミリ、恵南だけでなく市内全域に非常に激しい雨が降った。幸い人的被害は無かったが被害は大きいものであった。昨年度から導入した地図情報、県統合型GISぎふを使用しオンラインで災害情報収集機能を本格稼働させた。

皆様にお願したいのは、平常時からハザードマップを確認して、安全な場所に早めの避難行動が取れるよう確認してください。

被災された方の相談は、危機管理課や福祉総合窓口が御相談を付けます。

(総務部長)





ごとう やすし  
後藤 康司

## 惠南地域の中学校の 統合について

**問** 市長に惠那南地区の中学校の統合について、惠那南地区中学校再編検討委員会からの答申に対しどのように対応され、また、今後どのように進めていかれるのか、考えをお伺いします。

**答** 惠那南地区の中学校の統合につきまして、提言された時期までに実現に至らなかった事に対して、率直にお詫びを申し上げたい。また、当事者である子どもたち、そして保護者の皆様、御家族をはじめ、関係の皆様にはこの期間大変に不安であっただろうと思います。重ねてお詫びを申し上げます。

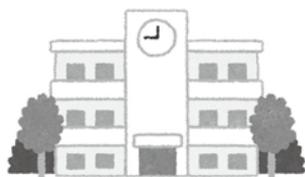
平成28年3月に御提言をいただいた内容について、詳細をより具体的に検討を進めるため、教育委員会事務局が申し上げたとおり、地元の皆様にとって少しでも懸念を払拭したいとの思いでございました。結果として大変な時間がかかってしまい、このことについては反省をしていきたいと思っています。

統合というのは非常にハードルが高いものですから、それに至る前に少しでも変化をする、可能性を探るといことも進めていきます。

惠那市の子どもたちにとっての最適な答えというのを見つければ、今年度後半になりますけれども、新たに将来の学びを、学ばすの可能性を検討するような組織を立ち上げてまいりたいというふうに考えております。

それぞれの地域の皆様、そして関係の皆様、そしてこれからの未来の学校、そして地域の在り方、こうしたことについて意見を交わしていただき、皆様が御納得していただいで、多くの皆様から御期待がいただけるような結論が出たならば、私自身それを尊重して、そこに向かってまいりたいというふうに思っております。

(市長)



## 活動どう市議会 がっ動トピックス

### 教育委員と語る会を開催

総務文教委員会では、10月22日に、教育長と教育委員の4名、教育委員会事務局職員5名を交えて教育委員と語る会を行ないました。

テーマは3つで、

○地域学校協働活動推進員の活動及びコミュニティスクールの現状や課題について

○南地区中学校の再編について

○コロナ禍によるGIGAスクール構想の前倒しと現状について

を、自由討議形式で意見交換しました。

惠那市では、4年前からコミュニティスクール（学校運営協議会）制度を取り入れ、「地域とともにある学校」をコンセプトに、現在では全小中学校に設置されています。この組織により、学校と地域で情報の共有化が図られ、地域が学校に協力的になり、特色ある学校づくりが進み制度が浸透してきました。令和3年度から新たに

に地域学校協働活動事業が始まりました。地域学校協働活動事業は、社会教育に位置づけられ「学校を核とした地域づくり」を目指し、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動を行うこととしています。地域学校協働活動推進員14名により活動を展開していますが、地域からは、コミュニティスクールとの違いが分かりにくい、一体化はできないのかなど、活発な意見が交わされました。



教育委員と語る会の様子

主な出来事

市民福祉委員会が視察勉強会を実施

11月9日(火)現在当市が抱える課題等を調査研究することを目的として視察勉強会を実施しました。

【視察先】

・NPO法人フードバンクぎふ(大垣市)ほか

【視察内容】

・フードバンク事業について

「NPO法人フードバンクぎふ」では、「食品ロスの削減、社会的孤立の防止、すべての人が人間らしく生きる権利が守られる社会を実現すること」を理念に、企業や農事法人等から食品、米、野菜などの提供を受け、生活に困難を抱える人(家族)へ宅配を行っています。昨年度は、西濃地域、岐阜地域のサポーターが、延べ5,592人へ配布しています。

フードバンク(フードパントリー)事業はすでに恵那市でもNPOや団体が実施しています。行政としてその活動をどのよう支援していくかを、今回の現地視察研修を参考に議会としてより良い提案をしていきたいです。



NPO法人フードバンクぎふ

表紙の説明

50年間に及んだ恵那市議会議場

昭和46年の使用開始から50年が経った恵那市議会議場が令和3年9月30日の市議会9月定例会最終日をもって改修工事のため一旦閉鎖されました。

安心して使い続けられるよう、時代に即した環境によるバリアフリー化や天井の落下防止対策、空調設備や換気対策など様々な改善を図るとされています。

表紙の写真(下段)に映し出されている昭和46年当時の議場での議席数は、31議席で全て使われていた様子が伺えます。

現在は定数通りの18議席が使用されていますが、コロナ禍でのソーシャルディスタンス対策として最後は30議席分全てを有効活用することができました。

令和4年3月定例会から、リニューアルされた議場で新たに議会を再開する予定です。

開かれた議会を目指すため、スマートフォン・タブレット、インターネットでの議会中継など、市民のライフスタイルやニーズの多様化に対応できる環境と、誰もが安心して気軽に市議会へ参加できる恵那市議会議場となることを期待したいと思います。

「表紙写真」

上段 令和3年9月定例会  
下段 昭和46年当時の議場

編集後記

本議会は決算審査があり、そのために決算特別委員会が組織されました。昨年から議員全員が委員として審査に臨むこととされ、今年も同様に議長と議会選出の監査委員を除く16名で組織され審議しました。

地方自治体は二元代表制であり、議会はその一翼を担う意味においても、執行機関の監視は最も重要な役割であり、その分、内容の把握と適切な執行がなされていたのかを確認するのは大変な作業でありましたが、職員の皆さんは質問に対して丁寧に答えていただいたという印象でよく理解できました。

また、8月豪雨に関する復旧予算が職員の努力により、早くも追加議案として上程され議決されましたので、今後、順調に復旧が進むことに期待したいと思っています。

コロナ対応については、ワクチン接種も進みようやく第5波も収束し通常の生活に戻りつつありますが、油断せず本場の終息に向かって、皆さんと共にもう少し努力をしなければならぬと思っています。

(N・H)

広報広聴特別委員会

- 委員長 佐々木透
- 副委員長 服部紀史
- 委員 平林多津子、中嶋元則
- 委員 安藤直実、町野道明
- 堀 光明

次回の議会だよりは、3月1日の発行を予定しています。